

経済同友会組織 学生ボランティア

岩手で活動始める

がれき撤去など復興支援

岡山経済同友会（岡山
山市北区厚生町）が県
内の大学生に呼び掛けて
組織した「東日本大
震災復興支援ボランティア」の一行が25日、
被災地の岩手県大槌
町に入り、活動を開始
した。27日まで同町で
被災者との交流、がれ
き撤去などに取り組
む。

一行は県内12の大学
・専門学校に通う39人
と会員ら13人で、24
日午後バスで岡山を
出発。到着後、現地で
活動している国際医療
ボランティア・A.M.D
A（本部・岡山市）の
調整員元持幸子さん
（37）の案内で、大槌川
の河川敷に幸せを示す
黄色い花を付ける菜の



大槌川河川敷で細かいがれきを取り除く学生
ボランティアら＝岩手県大槌町

子を聞いたり、河川敷
で約1時間半にわた
り、ガラス片など細か
ながれきを拾ったりし
た。

環太平洋大2年炭田
優也さん（20）＝岡山市
東区瀬戸町沖＝は「何
も無くなった町の光景
に息をのんだ。岡手で
被災状況を多くの人に
伝えたい」と話した。

ボランティアは、岡
山経済同友会が今後の
復興を担う若者に被災
地の現状を知ってもら
おうと企画した。

（山本友志）

花を植えるプロジェクト
に参加した。

同町は岩手県南部の
沿岸に位置。津波で多
くの家屋が倒壊、死者
・行方不明者は140

0人を超え壊滅的な被
害を受けた。犠牲者を
鎮魂するため、プロジ
ェクトを立ち上げた金

山文造さん（62）＝同町
＝から地震発生時の様